

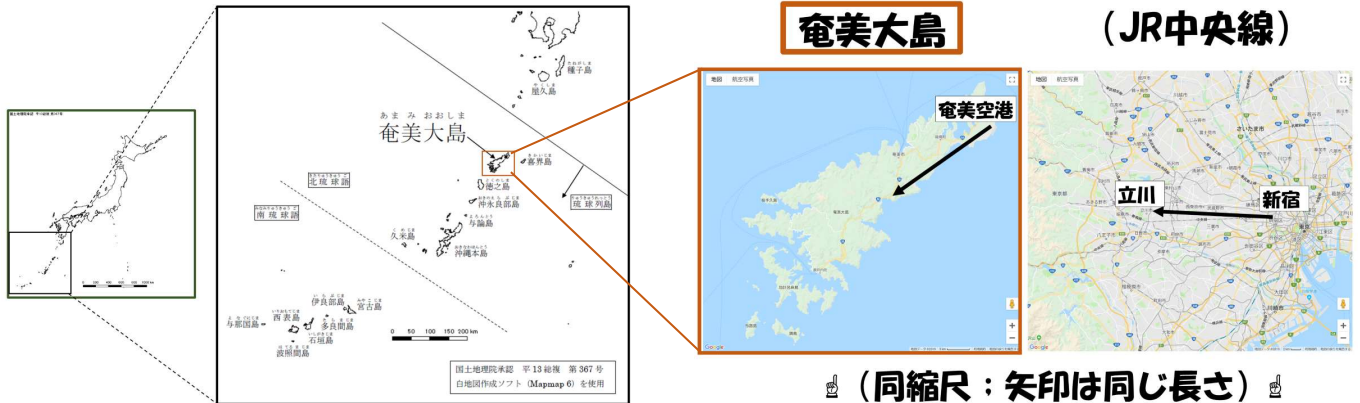
# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 琉球の超近距離方言間の異同に関する実証的データ 収集

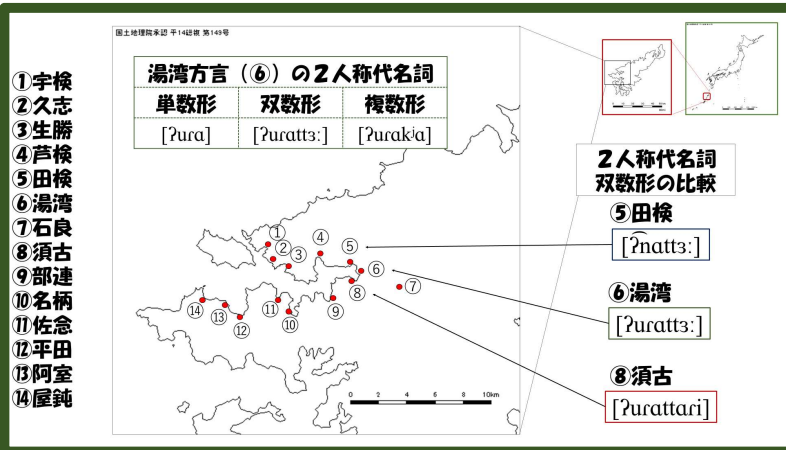
|       |                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2021-06-25<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 新永, 悠人<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.15084/00003355">https://doi.org/10.15084/00003355</a>                  |

# 琉球の超近距離方言間の異同に関する実証的データ収集

新永悠人（言語変異研究領域・特任助教）

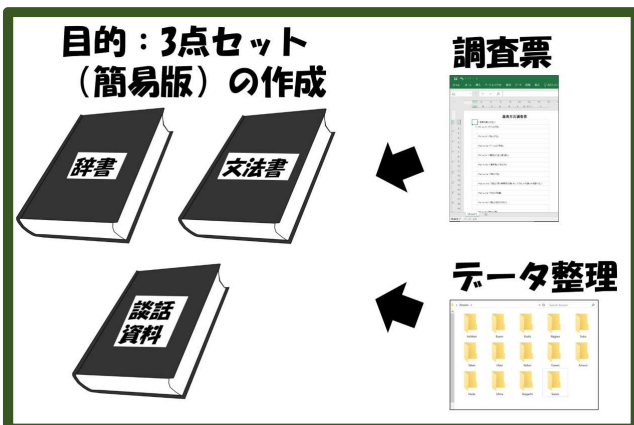


奄美大島内の隣接集落の方言文法体系を記述・比較するための調査をしています。



① 琉球列島の方言は「各村落ごとに異なっている」（上村幸雄 1992: 773）とされています。しかし、隣接する超近距離の集落同士の方言体系を実際に比較した研究は未だ存在しません。

② 実際に調べてみると、たった800mしか離れていない集落同士に違いを見出すことができます。

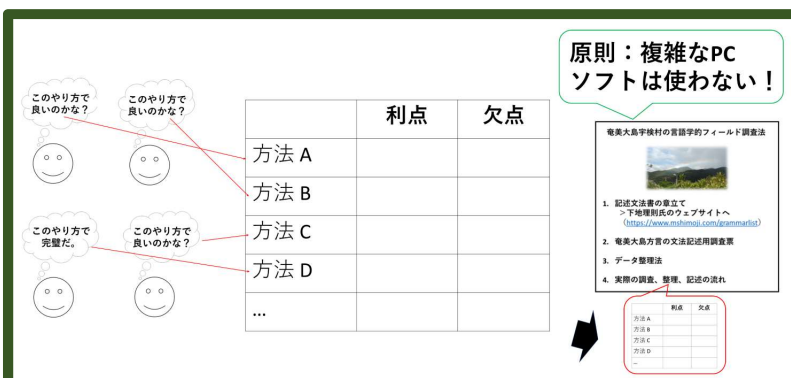


③ 調査の目的は、簡易版の3点セット（文法書・辞書・自然談話資料）を作ることです。

④ そのためには、以下の2つが必須です。

- ・ 調査票の作成
- ・ データ整理

⑤ 奄美大島方言に特化した調査票を作成し、それを他の研究者と共有したいと思います。



⑥ データ整理（特に、調査票ファイル、データを整理したファイル、発表・論文ファイル、およびこれらの相互関係の把握）に困っています。

⑦ 他の研究者とデータ整理方法を共有し、それぞれの利点と欠点をウェブ上で一覧できるようにしたいと思います。